

筑波大学附属病院認知症疾患医療センター第26回研修会・講演会

【開催報告】

2026年3月6日(金)(オンライン形式)

医療・介護・福祉・行政など認知症に関わる専門職の皆様を対象に「第26回研修会・講演会」をオンラインにて開催いたしました。

当日は 筑波大学附属病院 認知症疾患医療センター 新井哲明部長の開会挨拶に続き、順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院／順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学 教授 馬場元先生をお迎えし「老年期うつ病と認知症」をテーマにご講演いただきました。

講演では、うつ病と認知症の鑑別やその移行、および日々の臨床現場で重要となる視点について、豊富な事例を交えながらわかりやすくご解説いただきました。

研修会後のアンケートでは「うつ病と認知症は関連性があるのではないかと、ずっと気になっていたことが今回理解できた」「担当しているケースに類似した様相の方がいるので大変参考になった。本研修での学びを活かして対応していきたい」「抑うつとアパシーを判別する際の留意点について、具体的にご説明いただきとてもわかりやすかった」など、多数のご意見を頂戴しております。今回も大変多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

■次回開催について

次回の研修会は **2026年10月開催予定** です。

詳細が決まり次第、当センターのホームページでもご案内いたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

